

令和8年度までの目標	国語		算数・数学	
	自校A B層の割合	70%	自校A B層の割合	60%

目標達成に向けた取組			
3つの観点	教員の指導力向上	基礎学力の保障	学習習慣の確立
<b>学校全体の取組</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>探究的な学習を見据えた授業展開への転換</li> <li>授業の最後5分間を振り返りの時間に設定</li> <li>ICTを有効活用し、視覚的に認知し易い授業を展開。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習支援端末アプリ「ミライシード」におけるドリルパークの積極的な活用</li> <li>漢字コンテスト、計算コンテストを年2回実施</li> <li>数学単元別検定の実施（1・2年）《CD層へのアプローチ》</li> <li>放課後補習教室の活用</li> <li>補習教室支援担当の導入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭学習週間の導入（学期に一度）</li> <li>学習支援端末アプリ「ミライシード」におけるドリルパークの積極的な活用</li> </ul>
<b>特に支援が必要な児童・生徒への手立て</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査後に授業の内容が理解できているかをノートにて必ず確認する。</li> <li>授業中に全員が自信をもって答えられる問いを立て、自己肯定感を高める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>アプリの実施を定期的に確認し、未実施者に声掛けを行う。</li> <li>放課後再テストの時間を設定し、必ず合格するように促す。</li> <li>数学単元別検定の不合格者の放課後補習学習の実施《CD層へのアプローチ》</li> <li>担当員が細目に声掛けをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭学習が実施できているか、ノートなどで確認をする。</li> <li>アプリの実施を定期的に確認し、未実施者に声掛けを行う。</li> </ul>
<b>成果指標</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒授業評価において、全項目90%以上の満足度を得る。</li> <li>全国学力調査「自分の思いや考えをもとに、作品や作文など新しいものを創り出す活動を行っていましたか」肯定的な回答割合 85%以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>アプリの実施率90%以上。</li> <li>各種コンテスト初回合格率80%以上。</li> <li>数学単元別検定3級以上に全員合格。《CD層へのアプローチ》</li> <li>放課後補習教室にて実施する卒業問題で全員合格。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>アプリの実施率90%以上。</li> <li>全国学力調査「授業時間以外の勉強時間」1時間以上の回答割合 90%以上</li> </ul>